



長期滞在型・ロングステイ観光学会

NEWS LETTER (会報)

2021年度 第1号 2021年11月6日発行

編集人・発行人：理事 野口洋平

(杏林大学外国語学部観光交流文化学科准教授)

学会ウェブサイト：<https://www.asjlt.jp/>

## 【第6回年次大会 第一報】

第6回の年次大会の概要をご案内申し上げます。会員をはじめ、長期滞在型・ロングステイ観光に関心を持つ多くの皆さまの参加をお待ちしています。詳細は大会案内、公式ウェブサイトでご案内していきます。

### 1. 開催概要

開催日：2022年3月12日(土) 14:30~18:00(予定)

会場：オンライン (Zoom)

※ 発表者、参加者の方にはZoomのURLを連絡します。

テーマ：ウィズコロナ・ポストコロナにおける新しいロングステイ観光

13:00~14:00 理事会

14:30~14:40 開会の挨拶

14:40~15:20 自由主題報告セッション

15:20~16:20 分科会報告セッション

16:30~18:00 パネルディスカッション

司 会：辻野啓一氏 (流通経済大学)

パネリスト：五木田玲子氏 (公益財団法人日本交通公社)

相澤国弘氏 (蔵王農泊振興協議会)

※ 発表件数等により時間が前後する可能性があります。

### 2. 参加申込

#### (1) 大会参加費

正会員・準会員・学生・会員以外：無料

※ 本学会会員には、「長期滞在型・ロングステイ観光論集」を配布します。

## (2) 申込方法

参加を希望される方は、3月5日(土)までに次の出欠確認入力フォームから事前参加のお申込みをお願いいたします。

参加申込みフォーム：<https://forms.gle/47pDxVSmRiaENHkk9>

(右記 QR コードと同一)



## 【第6回年次大会 研究発表者募集】

上記のとおり、来る2022年3月12日(土)、オンライン(Zoom)にて、第6回年次大会自を開催いたします。

本学会の目的に合致した長期滞在型・ロングステイ観光に関する学術研究、事例報告、政策・事業提案にかかわるテーマであれば、自由にテーマを設定いただけます。ただし、本学会の目的に合致しているか申し込み時に理事会による審査があります。

発表を希望される方は、2022年1月15日(土)(必着)までに学会Webに掲載の「発表者登録用紙」に必要事項を記入の上、大会実行委員会事務局(asjlt.office@gmail.com)に電子メールにてお送りください。

### <発表内容と要件>

#### (1) 学術研究発表

長期滞在型・ロングステイ観光に関する理論的、方法的に新規性のある内容であり、かつ他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。論文はまとまった研究成果を公表するものであり、その研究目的と結論が明示されていなければならない。また、先行研究のレビューがなされていること。

#### (2) 事例報告発表

長期滞在型・ロングステイ観光の現状・事例に関する考察及び問題提起など。考察の結果や問題提起の内容に実用的価値を有すること。なお、他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

#### (3) 提案発表

今後の長期滞在型・ロングステイ観光の研究及び実践に関する提案的内容であり、かつ他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

#### (4) 学生発表

学生による研究発表の報告。なお、他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

#### <応募資格>

2021 年度会費を完納した会員（連名発表者は非会員でもかまいませんが、筆頭発表者は会員である必要があります）。入会手続きをする場合は、2022 年 1 月 31 日までに手続きを完了して下さい。

#### <応募方法>

「発表者登録用紙」（添付の WORD ファイル）に、発表者氏名、所属、発表代表者連絡先、タイトル、使用希望機器、発表カテゴリー（「学術研究発表」、「事例報告発表」、「提案発表」、「学生発表」）の別、発表内容の要約（200～400 字）を記入し、大会実行委員会事務局宛に電子メールにて送付のこと。

メール送付先：

asjlt.office@gmail.com（第 6 回年次大会実行委員会事務局）

※ 件名に「発表申込・氏名・発表タイトル」と明記すること。

#### <応募締切>

2022 年 1 月 15 日（土）（必着）

#### <発表者の決定と通知>

理事会における承認後、応募手続きと会費納入の確認がとれた応募者のみに大会実行委員会事務局より通知します。

#### <発表原稿の提出>

発表が決定した応募者は、以下の要領で発表原稿を大会実行委員会事務局 宛電子メールで送付して下さい。発表原稿の書式については、別添執筆要項ならびに原稿見本をご参照ください。

メール送付先：asjlt.office@gmail.com（第 6 回大会実行委員会事務局）

締切：2022 年 1 月 31 日（月） 必着

※ 発表論文の提出がない場合、発表を辞退されたものとして取り扱います。

#### <研究発表時間（予定）>

発表：15 分

質疑応答：5 分

※ 発表件数等により変更になる場合があります。

## 【理事会報告】

2020年度 第1回 理事会議事録

日時：2020年11月15日（日）13:00～15:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：安島副学会長、泉、篠崎、福永、弓野、山田

幹事：金、鈴木、野口、古本、花井

事務局：鶴田

<審議事項>

### 1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、11月13日現在の会員状況が報告された。正会員50名、一般会員12名、準会員1名、賛助会員10社。
- 鶴田氏より、2020年度会費の納入状況が報告された。なお、未収者に対しては、再度アナウンスをするとともに、対応方法について次年度総会前を目途に検討していくことになった。

### 2. 第5回年次大会の開催形式について

- 資料1に基づき、第5回年次大会の開催形式及び運営方法案について議論された。詳細は資料1参照とする。

### 3. 役員改選について

- 2020年度総会（メール審議）において、理事・監事任期満了に伴う新理事・監事の選任について、留任が決定されたことを、本理事会において確認された。

### 4. 2021年度の会費徴収について

- 2021年度の会費徴収について、従来通り行われることが承認された。

### 5. 分科会の中間報告

- 花井幹事より、2020年度の分科会2件のうち、1件について中間報告書の提出がなされたこと、もう1件については本日提出予定であることが報告された。

（以上）

2021年度 第2回 理事会議事録

日時：2021年5月22日（土）13:00～14:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：安島副学会長、篠崎、福永、弓野、大下

幹事：金、鈴木、野口、古本、花井

事務局：鶴田

<審議事項>

## 1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、5月19日現在の会員状況が報告された。正会員45名、一般会員12名、準会員1名、賛助会員8社。

## 2. 2021年度総会について

- 花井幹事より、2021年度総会の出席者及び委任状数について報告された。
- 2021年度総会の議事次第について確認された。
- 新副会長として弓野理事を推薦することが承認された。

(以上)

## 2021年度 第3回 理事会議事録

日時：2021年7月3日(土) 10:00～12:30

会場：オンライン (Zoom)

出席者：安島会長、弓野、泉、福永、山田、松山、辻野、大下、金、鈴木、古本、野口、花井

事務局：鶴田

<審議事項>

## 1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、7月1日現在の会員状況が報告された。正会員45名、一般会員12名、準会員1名、賛助会員8社。

## 2. 今後の学会の運営について

- 安島会長より今後の学会運営改革の方針及び構想について提起された。

### (1) 学会名称の変更

- 以下のような議論を踏まえ、「ロングステイ観光学会」に学会名称を変更することが承認された。併せて、「ロングステイ」の定義及び学会の対象フィールドを再度確認し、示していくことになった。今後は学会名称変更にかかる諸手続き(会則の変更、ホームページの修正など)についての具体的な検討を進めていくことになった。
- 発足当時は「ロングステイ」という用語への認知度が低かったこと、また国内のロングステイを含むことを示すために、あえて「長期滞在型・ロングステイ」とダブらせた。しかし、現在は「ロングステイ」の認知度も高まり、シンプルに表現する方がわかりやすいのではないか。
- 「ロングステイ」の定義を確認しながら、議論を進めていく必要がある。従来の海外移住を目的とするロングステイだけでなく、国内でのお試し移住としての半年～1年程度の長期滞在やワーケーションなども含まれるだろう。
- 「観光」に絞ってしまうと、観光学以外の分野でロングステイを研究している人を取り込むことができないのではないか。一方で絞らないと介護施設におけるロングステイな

ど意味が広すぎてしまう。

(2) 会員数の拡大

- 会員サービスを向上させ、学会の魅力度をアップさせていくとともに、ロングステイ関連の研究をしている研究者リストを作成し、アプローチをかけていくことになった。

(3) 年会費の減額

- 準会員、一般会員の区分を廃止し、個人会員は「正会員」に統一すること、また正会員の年会費を 8000 円から 5000 円に減額することが提案された。年会費を減額する根拠について明確にする必要があることから、引き続き議論していくことになった。

(4) ジャーナルのオンライン化

- 他学会の実践例についての情報を収集しながら、オンライン化の方法（Web 配信 or メール配信）や公開範囲について、引き続き議論していくことになった。

(5) 総会・年次大会・理事会等のオンライン化

- 理事会については今後 zoom 開催を基本とすることが承認された。総会、年次大会については、対面で開催する意義を検討し、引き続き議論していくことになった。
- また、国内外のロングステイ実践者にロングステイについての情報を発信してもらえるようなオンライン懇話会を会員向けに今後開催してはどうかということが提案され、具体的な内容及び運営方法について引き続き議論していくことになった。

(6) ホームページでの情報発信の拡充

- (5)のオンライン懇話会での情報などをホームページに掲載していくことが提案された。
- (以上)

## 2021 年度 第 4 回 理事会議事録

日時：2021 年 8 月 7 日（土）10:00～12:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：安島会長、弓野、福永、山田、松山、辻野、鈴木、古本、野口、花井

事務局：鶴田

### <審議事項>

#### 1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、8 月 16 日現在の会員状況が報告された。正会員 45 名、一般会員 12 名、準会員 1 名、賛助会員 8 社。

#### 2. 今後の学会の運営について

##### (1) ジャーナルのオンライン化

- 資料 1 に基づき、鈴木理事よりこれまでのジャーナルの発行状況について報告された。
- 最終原稿の PDF ファイルが存在しない論文がある。それらについては紙媒体をばらしてのスキャンなどの手続きが必要になる。

- ISSNは取っていないため、オンライン化にあたってはJ-Stageなどに掲載するというより、学会のウェブページなどに掲載するというやりの方が適しているだろう。
- 現在の刊行スケジュールは年1回であるが、オンライン化をすること年2回くらいに回数を増やすことができるのではないか。
- 会員への差別化が必要。例えば、最新号は会員のみ公開し、バックナンバーは一般公開するなどがある。ただし、現状のウェブページでは会員のみアクセス可能な場所はないので、どのように実現するか検討が必要。

#### (4)にてウェブページで実現する場合の費用規模を調査。

- ジャーナルのオンライン化は2022年度から正式実施する。2022年3月号をもって紙媒体は最後とする。なお、2021年3月号については試験的にオンライン版も並行した発行することを検討する。

#### (2) ホームページでの情報発信

- 松山理事より、どのようなコンテンツをウェブページで発信するのが良いか、理事会メンバーを対象としたアンケートをこの後実施する旨の報告があった。

#### (3) 会員数拡大に向けてのサービス提供

- 資料2に基づき、山田理事より今後の会員拡大に向けての提案がなされた。
- 入会の諸手続きが煩雑なので、オンライン化することで、入会者側、事務局側の手続きの簡素化ができるのではないか。
- →(4)にてウェブページで実現する場合の費用規模を調査。
- 会員の専門分野、関心分野を把握することで、学会側から会員に向けて具体的なテーマを提示するなど、積極的に関わられるのではないか。
- 国内のロングステイ施設として展開を希望する宿泊施設に賛助会員へのアプローチをする。その際、ロングステイ施設としての条件を学会としての基準を示せば、学会ウェブページに掲載するなど、宿泊施設側にメリットをアピールできるのではないか。
- ロングステイの施設の条件、定義などについて、会員間で議論できる場があると良いのではないか。

#### (4) ホームページの修正

- 資料3に基づき、花井理事より現在のウェブページの運用体制及び現時点で確定している修正範囲について報告された。
- 現在の保守の範囲ではコンテンツの修正は含まれていないため、別途スポット開発の発注が必要になる。ただし、現在のウェブページ自体がWordpressで構築されており、ユーザ側である程度のカスタマイズは可能である。
- 現時点で検討されているウェブページ改修案の中で、明らかにスポット開発が必要になる「会員限定ページの作成」、「ウェブページの階層のドラスティブな変更」、「入会フォームの作成（個人情報のセキュリティ担保）」の3点について、実施する場合の費用

規模について次回までに情報収集する。

(5) 会則・規約の変更

- 資料4に基づき、野口理事より学会のオンライン化に関わる他学会の会則について報告された。
- 会議（総会、理事会、年次大会）のオンライン開催にあたっては「電磁的方法により開催することができる」等の文言を含めることが必要。なお、本学会においてはオンライン開催を前提とし、場合によって対面開催も可能という文言になるだろう。
- 会則への含め方としては、会則本体で定めるという方法と細則で定めるという方法がある。
- 開催方法を変更する場合の意思決定プロセスについて、「会長が必要と認めるとき」、「理事会が必要と認めるとき」、「理事からの提案あったとき」の3パターンが考えられる。本学会においては、「会長が必要と認めるとき」が良いのではないか。

(6) 会費の減額

- 準会員を廃止し、一般会員と正会員の区分をなくした上で年会費を5000円とすることが承認された。ただし、本件は総会決議を経る必要がある。

(以上)

2021年度 第5回 理事会議事録

日時：2021年9月18日（土）15:00～17:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：安島会長、弓野、山田、松山、辻野、金、鈴木、古本、花井

事務局：鶴田

<報告事項>

1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、9月18日現在の会員状況が報告された。正会員46名（1名増）、一般会員12名、準会員1名、賛助会員7社（1社減）。

2. ウェブページリニューアルに関するアンケート結果の報告

- 資料1に基づき、弓野理事よりウェブページリニューアルに関するアンケート結果について報告された。

<審議事項>

1. 今後の学会の運営について

(1) ジャーナルのオンライン化

- 今後の検討事項として以下が提案された。
  - 論文のコンテンツ（目次）の検討
  - 論文のフォーマット（ヘッダーなど）の検討



- 表紙のデザイン（外注）の検討
  - 投稿規定や投稿された論文のチェック（形式チェック、最低限の中身のチェック）、及び体制の検討
  - 投稿部門（学術部門と一般部門）の検討
  - 過年度分の論文の掲載については、次年度以降予算化しての対応していくことになった。
  - (2) ホームページでの情報発信
    - コンテンツ案について次回までに検討していくことになった。
  - (3) 会員数拡大に向けてのサービス提供
    - ホームページでの情報発信とリンクさせて検討していくことになった。
    - ニーズの高いサービスとして、現地情報、渡航情報などの情報の発信（タイムリーな発信）がある。学会で情報を収集するのではなく、そういった情報を発信している組織（ホームページ）とリンクするなど、具体的な方法を検討していく。
  - (4) ホームページの修正
    - 現時点で検討されているウェブページ改修案の中で、明らかにスポット開発が必要になる「会員限定ページの作成」、「ウェブページの階層のドラスティックな変更」、「入会フォームの作成（個人情報のセキュリティ担保）」の3点について、実施する場合の費用規模について、報告された。
      - 会員限定ページの作成：10万円
      - ウェブページの階層のドラスティックな変更：10万円
      - 入会フォームの作成：7.5万円
  - ※ 単純な文言の修正、画像の差し替えであれば、WordPress を使い学会側で作業することが可能
    - 入会フォームについては、オンラインで入会できるようにすることよりも、入会フォームの中身を整理する方が良いのではないかという提案がなされ、次回までに検討していくことになった。
  - (5) 会則・規約の変更
    - 基本的には総会決議に関わる事項になる。電子的総会の開催を正規のものとして認める旨の規約を会則の中に入れる必要があるため、年度内に臨時総会を開くことになった。
    - 臨時総会に向けた会則・規約の変更案について、次回までに検討していくことになった。
- (以上)

## 2021年度 第6回 理事会議事録

日時：2021年10月9日（土）16:30～18:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：安島会長、弓野、大下、山田、松山、辻野、金、鈴木、古本、野口、花井

事務局：鶴田

<審議事項>

1. 会員状況の確認

- 鶴田氏より、10月7日現在の会員状況が報告された。正会員46名、一般会員12名、準会員1名、賛助会員7社。

2. 全国大会開催について：日時、場所、テーマ、実施要綱

- 資料-1に基づき、全国大会の開催形式について議論された。

(1) 開催形式

- オンライン

(2) シンポジウム

テーマ：ウィズコロナ・ポストコロナにおける新しいロングステイ観光

登壇者候補 テーマ（コンタクト担当者）：

- 消費トレンド（金理事・篠崎理事）
- 新しい地域での取り組み・ワーケーション（金理事）
- 湯治（安島理事）
- 海外ロングステイ（山田理事 or 弓野理事）

コーディネーター：辻野理事

(3) 大会論集

- 第5回年次大会との合併号

(4) 参加費

- 無料

(5) スケジュール

応募締切 2022年1月15日（土）

原稿締め切り 2022年2月28日（月）

大会 2022年3月12日（土）

(6) 当日スケジュール（案）

13:00～14:00 理事会

14:30～16:30 発表

16:30～18:00 パネルディスカッション

3. 分科会の中間報告について

- 2021年度の分科会の中間報告書が提出されたことが報告された。

4. ニュースレターの発行について

- 第6回年次大会の開催についてニュースレターを発行することになった。

5. その他

- 資料4に基づき、オンラインでの総会の開催に関する会則の改正案について議論された。

臨時総会については2022年1月8日(土)10:00から対面形式(候補地:杏林大学)で開催することになった。

- 弓野理事より、資料5に基づき、学会HPリニューアル企画案について報告された。
- 新規入会者1名の入会が承認された。

(以上)

## 【事務局より】

本学会では新規会員を募集しています。お近くに関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

本学会に入会するためには、所定の入会申込用紙を送付いただいた上で、理事会で承認された後に入会登録手続きを行います。入会の通知は、許可後に郵送にてお送りいたします。入会希望者は、下記要領をよくお読みの上、入会申込書を下記事務局まで郵送して下さい。

## ■入会について■

一般財団法人 ロングステイ財団

〒102-0084 東京都千代田区二番町9番3号 THE BASE 麹町

TEL: 03-6910-0681

FAX: 03-6910-0682

メール: [info@asjlt.jp](mailto:info@asjlt.jp)

<http://www.asjlt.jp/entry/entryinfo>

## ■入会後のお問い合わせ■

帝京大学 経済学部観光経営学科 花井研究室

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 番地

電話: 042-678-3363

メール: [society@asjlt.jp](mailto:society@asjlt.jp)

## 【編集人・発行人より】

長期滞在型・ロングステイ観光学会のニューズレター（会報）では、会員の皆さんからの情報を募集しております。

学会の目的に合った情報、会員のあいだで共有すべき情報などをお寄せいただきたいと思います（掲載の可否は理事会で決定します）。

編集人・発行人：理事 野口洋平（杏林大学外国語学部 准教授）

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部

電話：0422-47-8000（代表）

FAX：0422-47-8077（共用）

メール：[noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp](mailto:noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp)

